



# 2 ほほけんだより

第23号  
令和3年  
2月16日



一般社団法人福山市医師会 理事 やすはらこどもクリニック院長 安原伸吾先生  
から学校における感染症予防について指導・助言をいただきましたので  
内容について報告します。

## 新型コロナウイルスとは？

コロナウイルスは人に感染するウイルスであり、私たちが普段風邪をひいたときに感染しているウイルスも同じです。風邪のいくらかは4種類のコロナウイルスが原因となっているが、重症化しやすいのが、2002年に流行した「重症急性呼吸器症候群（SARS）」や、2012年以降発生しています「中東呼吸器症候群（MERS）」です。そして、今回問題となっているのは7番目のコロナウイルス「新型コロナウイルス（COVID-19）」です。

ウイルスは目に見えないため、100%完全には予防できません。感染する危険性は誰もがもっているため、広めないようにする対策をすることが大切です。

※誰もが感染する危険性をもっているため、広めないようにする対策が必要。

## クラスターが発生する原因は？

クラスターは4つの条件が重なったときに起こります。

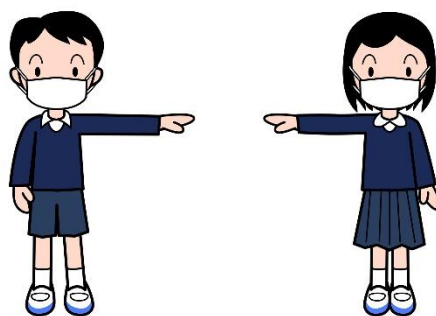
4つの条件とは…

- ①閉鎖された空間
- ②近距離での接触
- ③マスクをしていない

（マスク自体にウイルスは通るが、マスクをすることで、かなりの感染性を落とされています。）

- ④一定時間以上の会話

（すれ違うくらいでは感染しない。15分以上が目安となり濃厚接触者と判断されています。）



※4条件がそろった場所や場面を避けること。

## マスクについて

マスクがきちんとできていないことが問題で、鼻も口もきちんと覆うことが大切です。マスクが浮いているとウイルスが入ってきます。ウイルスの侵入箇所は、口・鼻・目。目は手で触ることにより鼻涙管を通して入ってくる、目からウイルスは飛んでいかない、お互いがマスクをしているとうつりにくいです。

※正しいマスクの着用で予防すること。

## 感染経路は？

人の口から出た飛沫から、目や鼻、口に入ってきます。また、手にウイルスが付いていることで、広がっていきます。便にも尿にもウイルスが出ています。手を介してうつるため、あちこち触らない、常に手をきれいに洗い、口や鼻・目を触らないことが大切です。

空気中で生存するウイルスが体の中に入ったことで発症することはないです。少量のウイルスは、普段の免疫力で大丈夫です。そのことから、空気清浄機を使ってのウイルス除去は学校では難しいが、空気を清潔に保つためにいちばん大切なことは、換気をすることです。常時換気の場合は、室内温度が快適な室温に保てるように気を付けましょう。

流行地域に行くことが問題なのではなく、流行地域に行ってから行動が問題であること、4つの条件が重ならないような行動を常にとることが大切です。

※口や目・鼻などを無意識に触るため、手洗いを徹底する。

## 手洗い・消毒について

ウイルスは長期間生存します。手が触れる場所を集中的に、頻繁に拭いても完璧に清潔にはなりません。だからこそ、各自がていねいに手を洗うことが大切です。アルコール消毒は補助的に使い、手洗いが基本。手洗いができないところではアルコール消毒をしましょう。

ハンカチできれいに拭けていないことも問題です。手を洗ったら、清潔なハンカチできちんと拭くことが大切です。濡れたままにしないこと（夏場からしもやけになる子もいる。）ハンカチが濡れたままポケットに入れないようにしましょう。

## 家庭で気をつけることは？

現在は外での会食が少なくなった分、職場や家族間での感染が増えてきました。

現在のクラスターは、家庭内感染が主です。子どもは軽症な場合が多い、ちょっとした風邪症状で終わることが多そうです。周りの大人が子どもにうつしているの、大人の対策をきちんとすることが大切です。

※大人が行動に気をつける。

今後も様々な方からご指導・助言をいただきながら、感染症対策に努めてまいります。

## おうちの方へお願い

感染症対策として

- ・ハンカチを少し多めに持たせてください。
- ・給食当番の用のマスクを持たせてください。
  - ☆布マスクの場合1枚
  - ☆不織布マスクの場合5枚（使ったら処分します）

よろしく申し上げます。

